

## 第22回 スクリーンコンサート 2023. 4月

## 今月のテーマ ラフマニノフ

フランク・シナトラがピアノ協奏曲第2番第1楽章の第2主題を用いた「I Think of You」を歌ったり、フレディ・マーキュリーが自身で作曲も手掛けた「THE FALLEN PRIEST (Rachmaninov's Revenge)」でも第1楽章が使われています。

日本ではX JAPANのYOSHIKIがドラムソロでも使用したり、ゴスペラーズが第三楽章の旋律を拝借した「Sky High」を歌っています。

かつてフィギュアスケートの浅田真央さんがこの曲で滑ったときにも話題となりました。

数々の作品が日本でも愛され続けているラフマニノフ

は、偉大な作曲家であると同時に、リストと並び称されるほどのピアニストでもあった。今年、ラフマニノフ生誕150年で記念すべきコンサートが目白押しです。



## 曲目

## 1、パガニーニの主題による狂詩曲（イ短調）作品43から第18番

パガニーニのヴァイオリン曲『24の奇想曲』第24番「主題と変奏」の「主題」をラフマニノフらしいロマンティックな世界を繰り広げています。第18変奏は映画やテレビのコマーシャルのBGM、さらにはフィギュアスケートの音楽などに使われています。

## 2、前奏曲《鐘》嬰ハ短調（幻想的小品集 Op.3-2） 6:40

ラフマニノフの最も有名なピアノ曲の一つ。全部で5曲からなる《幻想的小品集》の2番目。クムリン宮殿の鐘の音にインスピレーションを受けた作品とされる。

## 3、エレジー（悲歌）Elegie 6:00

感傷的な旋律で寂しげなタイトルとおりの曲だが、浅田真央選手がバンクーバー五輪の2009-2010シーズン、オーケストラ版をフリープログラムで使用した曲です。

## 4、ヴォカリーズ 作品34-14 5:30

ヴォカリーズは母音のみによって歌う唱法のことです。ソプラノまたはテノールのための「14の歌曲集（Fourteen Songs, Opus 34）」作品34の終曲。ピアノソロ版、ヴァイオリン独奏版、作曲者自身による管弦楽版、フルート独奏と管弦楽伴奏版、チェロやヴァイオリンなどの独奏楽器とピアノ伴奏によるデュエット版など、様々な表情の『ヴォカリーズ』を楽しむことができる曲です。

独唱、ピアノ、チェロ、オーケストラで聴いてみましょう。

## 5、交響曲第2番ホ短調 Op.27 14:00

### 第3楽章

ラフマニノフ作品の美しさの極みとも言える楽章です。

甘く切ないメロディが映し出す美しい

クラリネット独奏を経て木管楽器が旋律を歌い上げます。その後トゥッティでクライマックスを築き、最後は第1楽章のモチーフも重なって静かに消えゆくように曲を閉じます。

## 6、ピアノ協奏曲 第2番（二短調）作品30

### 第1楽章 13:00

冒頭のピアノ独奏による和音連打のクレシェンド（だんだん強く）が印象深い。これはロシア正教の鐘の音を模したものとされる。

ソチ五輪が開催された2014年、フィギュアスケート女子シングルの浅田真央（あさだ まお）選手が使用した。

### 第2楽章 12:00

甘く世界が広がる。フルートとクラリネットがピアノソロと穏やかに調和し、聴く者を幻想の泉の奥底へと静かに引き込んでいく。

### 第3楽章 12:00

壮大なロシア的叙情の世界が繰り広げられる。そしてフィナーレへ向けてダイナミックで力強い終結部で、華々しくピリオドが打たれる。

1992年アルベルビルオリンピック銀メダリストの伊藤みどりが、同大会のフィギュアスケート女子シングル フリースケーティング（LP）で後半部分に使用した。